

たかとき川

2000・Vol.17

特・集 水を求めて創意工夫、
農具に見る湖国の心。



一と角
立ち上り
風拾う

新翠

丹生ダム広報誌

季刊 たかとき川

2000・Vol.17

発行：水資源協会

監修：高時川治水対策促進協議会
水資源開発公団丹生ダム建設所

丹生ダムからのお知らせ 楽しかった(^o^) 丹生ダムフェスタ2000

みなさんこんにちは!!私は、丹生ダムマスコットのニューちゃんです。私が、頑張って報告します。
今年は10月8日にウッディバル余呉のわんぱく広場で、限りある水資源を大切にすることを広く理解してもらうために、丹生ダムフェスタ2000を開きました。
小学生の水に関する絵を集めた「絵画コンテスト」、大阪市内、長浜市内の水道水と湖北地方の湧き水の名水を飲み比べる「ミズリエ」、大阪府藤井寺市の市民音楽団による「コンサート」と有馬御ノチェクバーナーの「ラテン音楽の夕べ」がおこなわれ、一緒に聞いてよかったですね。
また、丹生ダムの展示コーナーでみんなと一緒に楽しく勉強できてとてもうれしかったですよ。
みんないっぱい来てくれてありがとう。これからも、私たち丹生ダムのためにがんばるからみんな応援してね!!
また来年もみんなと一緒に遊ぶことを楽しみにしているニュー。ハイハイ

丹生ダムホームページ
URLアドレス
http://www.water.go.jp/kansai/niu



byニューちゃん

EVENT

- びわ町**
平成13年 1月1日(月)～3日(水)
「竹生島初詣」
○長浜港より琵琶湖汽船
○お問い合わせ先/
竹生島神社 ☎0749-72-2073・宝巖寺 ☎0749-63-4410
- 虎姫町**
平成13年 1月10日(水)
「八木浜十日ゑびす」
○場所/八木浜神社
○内容/福笹渡し、餅まき、振る舞い酒
○お問い合わせ先/びわ町観光協会 ☎0749-72-5252
- 虎姫町**
平成12年 12月3日(日)
「おはなしとコンサート」
○内容/日本叙情歌と音楽で奏でる万葉集
○お問い合わせ先/虎姫町役場 ☎0749-73-4855

- 浅井町**
平成13年 1月10日(水)～3月11日(日)
「盆梅展」
○場所/浅井ふれあいの里・プラザふくらの森
○お問い合わせ先/浅井町役場 まちづくり課 ☎0749-74-4351
○浅井の物産館「浅井ふれあいの里・プラザふくらの森」が10月1日にオープンしました。地元のとれたて野菜、特産品、物産品を取り揃えています。
- 長浜市**
平成13年 1月10日(水)～3月11日(日)
「盆梅展」
○場所/長浜市慶雲館
○内容/巨木や古木など日本一の規模
○お問い合わせ先/長浜市役所商工観光課 ☎0749-62-4111

QUIZ

このコーナーでは、毎回、クイズに正解された皆さんの中から、抽選で10名様に素敵なプレゼントをお送りしています。

今回のクイズは... 浅井亮政が飢饉で苦しんでいる領民救済のために作ったとも言われ、八合しか入らない杵は何杵と呼ばれていたのでしょうか?

皆さんからのたくさんのご応募をお待ちしています。

【クイズ解答のあて先】
クイズの解答は、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、下記のあて先までハガキでお送りください。
また「たかとき川」へのご意見、ご感想等がございましたら、あわせてご記入下さい。

〒529-0522 滋賀県伊香郡余呉町坂口819
水資源開発公団 丹生ダム建設所
広報誌クイズ係

*クイズの締切は平成12年12月20日(水) 付消印まで有効です。

【たかとき川・16号】のクイズの答え《反射》
前号のクイズに多数の御応募ありがとうございました。抽選の結果、下記の方々が当選されました。

クイズ当選者 (応募者総数125通)
川崎裕子様 杉江善樹様 水永真理様 矢野保典様
清水紀子様 田中志保美様 宮川弘資様 山本美千代様
清水美子様 引山はまる様

お詫びと訂正
第16号の記事の中で誤りがございました。
お詫びして、訂正させていただきます。
《誤→芯金に青銅板を巻いて 正→芯金に黄銅板を巻いて》

編集後記

今回の特集はいかがだったでしょうか?今年の夏は、例年がない湯水が続きましたが、過去の時代において“水道具のかかわり”という観点からとらえてみました。いかに効率的に農業に水を利用するかという先代の知恵が生かされていますよね。
さて、秋もだんだん深まり、山々が徐々に紅葉がはじまりました。余呉の方でも秋としての自然の美しさが映えてきています。秋はいろいろな収穫ができる時期です。私もどんな実りを手に入れようかな～!?皆様においても、実りのある秋が収穫出来ますように。

●この広報誌「たかとき川」は再生紙を使用しております。

民話 シリーズ④ うさぎの足

うさぎの足は前足が短くなっています。後足がとても大きいので、ぴょんぴょんと飛びのけるのは得意です。坂道だつてどンドン登っていけますよ。その代わり、坂道を下るのは苦手です。

昔々、あるときのこと、うさぎが山の上で猪に追いかけられました。さあ、大変。逃げなければならぬのですが、まわりはみんな苦手な下り坂です。

うさぎは一生懸命逃げました。でも、下り坂なのでうまく走れません。猪はどンドン追いかけてきます。見る見る間に差は縮まり、もう捕まる……というとき、うさぎは思わず叫びました。

「かんのんたのむ、かんのんたのむ」

必死で観音様におすがりしたのです。

するとどうでしょう。追いかけてきた猪は大きな松の木に頭をぶつけて、のびてしまいました。

「ああ、助かった。」

ところが、再び山の上へ戻るとき、うさぎはあまりにも楽に登れるものだから、つつい得意になって、観音様のご恩を忘れてしまいました。

「かんのん尻くらえ、かんのん尻くらえ」

こう唱えながら山の上へ上がってみると、恐い狼が待ち構えていました。うさぎはあっという間に狼に捕まってしまったのです。

やっぱり、得意になりすぎたりご恩を忘れたりするものではありませんね。

(「高月町のむかし話」より)

俳句/谷口秋翠
一と角に立ち上り 風拾う
表紙撮影/高月町東柳野